

夢（ゆめ）

文責 校長 池田 新

－ 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成 －

1 令和2年度 武雄市立川登中学校 第55回入学式を挙行了しました

4月7日（火）に新入生34名を迎えて、第55回入学式を挙行了しました。武雄市教育委員会松尾文雄教育長のご臨席に感謝致します。



校長の式辞として、中学校3年間で「進路希望」をしっかりと抱き、その実現に向けて一生懸命に努力してほしいと話しました。そのために、

- ① 「満足する人生」にするために、将来、どのような人になりたいのか？どのような職業に就きたいのか？を自分自身で決定する力を身に付けてほしい。
- ② そのためには、体育大会や学習成果発表会などの学校行事に主体的に取り組むこと、毎時間の授業常に真剣に臨むことで新しい知識やものの見方や考え方を身に付けること、毎日の部活動に一生懸命に取り組むことで仲間意識や信頼関係を築いたりきつなくてもつらくても仲間と共に頑張り強い意志を身に付けることが大切です。
- ③ また、川登中の校訓も重要です。
「誠実」とは、真心で人や物事に接することで、安心して生活できるようになります。「敬愛」とは、尊敬し親しみの心を持つことで、仲良く生活できるようになります。「自主」とは、自分の意志で進んで行うことで、意欲的になり向上できるようになります。
- ④ これらのことは、川登中の教育目標である「自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成」にもつながり、自分がやりたいことを自分で見つけて自分でどんどん取り組む意識をもち、一人の人間として力強く生きていくための「総合的な力」を身につけることになります。
- ⑤ 一生懸命に努力する過程がとても尊いことですが、努力が成果として実を結んだときは感動があります。目的や夢を持ち、仲間とともに一生懸命に努力すれば、その成果が出せる川中生が多いので、新入生も川中生として「夢や目標」を持ち努力してほしい。

⑥ 成果を出して感動する秘訣を二つ紹介すると、「勇気ある挑戦心」をもって、難しい・できないかもしれないと思うことにもチャレンジすることと、「謙虚な学び」の意識をもっていつでも誰からでも学び取ろうとする意識で生活することです。今の自分に満足することなく、日々成長し続ける川中生であってほしい！と願っています。

⑦ 川登中の伝統になりつつある取組を二つ紹介すると、「挨拶」を立ち止まって、自ら進んで、元気よくできることと、昨年度末から生徒会が主導して取り組み始めた「無言掃除」です。先輩を見習って、校舎をきれいにすると共に、自分の心をきれいにする意識で取り組んで、川登中学校の伝統に築き上げてほしい。

と、新入生に話しました。

「入学式」での「卒業」を見据えた式辞は、新入生には実感を持たずに難しいと思いますが、「将来の夢や自己実現」を果たすには重要と考えます。



式辞の概要を職員に配布し、理解が十分でない内容の補足説明を依頼しています。川登中学校での3年間で、いろいろなことを主体的・意欲的に学んでくれることと期待しています。

2 交通安全教室を開催し、「命」を守る重要性を再確認しました

「命」にかかわる重要な学習として行いました。DVD視聴では、歩行者や自転車に乗った人（スタントマン）が自転車・バイク・自動車にはねられるシーンがあり、「もしも自分だったら」と真剣に見入っていました。船崎教諭から、①交通事故の被害者・加害者にならない留意事項、②自分の身は自分で守る術として交通ルールを順守すること、③自分自身がルールを守っていても事故に巻き込まれる可能性があるので常に安全確認を行うことを話されました。

川中生から交通事故の被害者・加害者がでない！ことを強く願っています。ご家庭でも交通事故の悲惨さや交通安全の重要性を話していただくと、発生率「0」の対策になると思います。よろしく願います。

3 家庭訪問延期、体育大会の規模縮小開催にご理解をお願いします

新型コロナ感染拡大防止のために、昨年度末の臨時休校、卒業式の規模縮小での開催などの対策を行いました。今年度の入学式も規模を縮小して開催し、また、家庭訪問は延期すること・体育大会は規模を縮小して開催することに致しました。今後もいろいろな対策を講じることにご理解・ご協力をお願いします。

※ 学校通信は川登中学校HPにおいてカラーで見ることができます